

SGH企画 キャリア教育事業「未来創造II」先輩を囲む会

「同窓の先輩から研究や職業、学生時代の思い出等、様々な話を伺い、自身の将来や生き方について考える機会」にするために、お忙しい中、多くの先輩が関高に来てくださいました。現場の生の声を聞くことができ、生徒たちは大いにやる気になったようです。

対象：2年生

日時：10月2日(木) 6・7限(14:15～16:05)

講師：第一線で活躍する関高出身の社会人の先輩方(順不同)

1	早川典雄氏 (株式会社セイノー情報サービス、取締役)	高校31回生
2	尾藤 望氏 (尾藤法律事務所、弁護士)	高校51回生
3	森 薫 氏 (関警察署長)	高校25回生
4	小椋 学氏 (岐阜県農政部技術主査)	高校43回生
5	堀江耕太氏 (株式会社ヒューテック、義肢装具士)	高校52回生
6	須田暁世氏 (アクアトトぎふ、展示飼育スタッフ)	高校59回生
7	松居志洋氏 (岐阜県総合医療センター、医師)	高校58回生
8	松田好美氏 (岐阜大学医学部看護学科、教授)	高校24回生
9	岸 篤司氏 (NPO法人花時計、理事長)	高校35回生

各先生方の講義内容と生徒の感想

1 早川先生

■ 講義の内容

自己紹介に始まり、関高校での思い出、またその後のキャリアについてお話いただきました。また、早川さんが勤務されてみえるセイノーホールディングスでどのように情報、いわゆるITが利用されているかを中心にお話しいただき、セイノーホールディングスの中核を担う西濃運輸の業務にもITが必要不可欠だということが理解できました。本校生徒へのメッセージとしては、理系のみ、または文型のみできる



という人間ではなく、**文系理系双方に通じた人間は社会では求められている**ということを伝えられ、また**1年間で1,000時間の勉強を1つの目安とすると良い**とお話いただきました。

■ 生徒の感想

- ・物流というものは、普段目に見えないものであり、その内容について知られたことはとても良かったです。また、大人になってから学んでも遅くないということが分かりました。**今後、自分の将来を考える上で、物流に携わるのもいいかなと思いました。**
- ・東京大学のツアーに参加した時にも、文理の掛け橋の話がありました。今回もその話がありましたが、現場の意見や状況を聞くことができました。**文理の両方を使う仕事が、他にあるのか、調べてみたいです。自分の仕事が決まった時にも今日の話を生かしていけそうです。1,000時間勉強しよう。**

2 尾藤先生

■ 講義の内容

話は生徒の知っている法曹界に関するテレビドラマから始まりました。ドラマの登場人物と、弁護士、検事、裁判長といった仕事の内容の説明とそのタイプの間像に関する説明は、生徒にとってイメージしやすく興味をひくものでした。

その後、**生徒の質問に応じて話を進めるというスタイルで、生徒も積極的に様々な質問をし、具体的な話を聞くことができました。**また、司法試験に合格しなくても法律に関する仕事に携わる職業の種類についてのお話も聞くことができました。



■ 生徒の感想

- ・司法試験の合格率の低さに先ず驚きました。朝9時から夜11時まで図書館にこもって勉強し、6年でやっと合格とは……。司法試験の合格後の進路が裁判官・弁護士・検察官だけではないことを知りました。僕は**将来法律関係に進みたいと考えているが、何故そうしたいのかが分からない。考えるきっかけとなりました。**
- ・検察官の特徴（結構極端）、弁護士は口下手でもOKだと知りました。弁護士は、本来裁かれるべき人をかばっているみたいで、良い印象を持っていませんでしたが、やることは真実を述べることで、**冤罪を止めることができる唯一の仕事であると聞いて、尊いと思いました。**

3 森先生

■ 講義の内容

自己紹介に始まり、関高柔道部での思い出から現在に至るまでのお話をしていただきました。

講義は、**警察学校で学んだことや警察署の勤務内容など具体的に分かりやすく説明をしていただきました。**生徒たちは、学校生活と違った環境の話だったせいか、興味を持ってメモを取ったりして聞いていました。



■ 生徒の感想

- ・なかなか現役警察官のお話を聞ける時がないので、とてもいい話が聞けました。学歴・年齢に関わらず、昇任できるというのは、とても魅力的だと思います。「自分の芯を持って」という精神の話、警察官の心構えが印象的でした。先生が、**警察の仕事はやりがいがあると話されたので、私のモチベーションが上がりました。目標を持つと奮い立たせることができると教えていただけて良かったです。これから頑張りたいと思いをなおすことができました。**
- ・**今まで警察のことはテレビでしか見たことがなかったので、警察官になるにはとても大変だということを知りました。**刑事になるにも、地域警察官になり、それから性格や適性に応じて、刑事になれるかが決まると分かりました。そして、「人との出会いを大切にする」「生涯頼りにできる先生を持つ」「自分が変わらなければ相手は変わらない」「自己反応が必要」の4つの四季の心を持つことを気を付けていきたいと思いました。

4 小椋先生

■ 講義の内容

○自己紹介：高校生当時の部活動の経験や現行の制服の決定過程など

○県庁の組織・業務内容の紹介（プリント資料にて）

○現在の小椋氏の仕事内容の紹介

- ・「ぎふ農業・農村基本計画」（各1冊づつ配布）の作成
- ・野生の鳥獣被害対策の実施・・・実際に使用されているベストや花火発射器具を持参され、興味深い話をされた。

○質疑応答

- ・県庁職員になろうとした動機は？県庁職員になるためには何が必要か？ など



■ 生徒の感想

・県庁という、あまり楽しそうな仕事ではないかな、なんて思っていたのですが、実際お話を聞いてみると、鳥獣対策のロケット花火をそのまま使うんじゃ面白くないとライフル型にしてみたり、ご本人も大変気さくな方だったので、**イメージがとても変わりました。先生は、岐阜県がとても好きな人なんだと感じました。**

・**県職員には、いろいろな種類の職業があるので、私の希望する職種があるか、調べてみようと思います。**動物的な観点でのお話がとても興味深かったです。仕事の話だけでなく、雑談も面白くて楽しかったです。**地元が一番なんだな！**と思いました。

5 堀江先生

■ 講義の内容

高校を卒業した後、すぐに進路を決められずアメリカに渡った話から、義肢装具士を目指すまでの経緯、「自分のやりたいこと、やるべきことは何か」について常に試行錯誤を繰り返し、今日義肢装具士として唯一無二の存在になるまでのプロセスを具体的かつユーモアあふれる語り口でご紹介いただきました。

「人が違えば同じものを見ても見え方が違ってくる、それが個性」「人生はやるかやらないかの2択」「やらぬ後悔よりやった後悔。やりたいと思ったらアクションをおこす！」「今やるべきこと(勉強・部活動)に全力で取り組むことが大事」など数々の言葉が、とても刺激的でした。



■ 生徒の感想

・ものの見方・考え方は一方通行ではないし、**自分でやること・考えることが一番大切なのだと分かりました。**私は偏見というか、かたく考え過ぎてしまうことが多いので、柔軟に多方面から考えていきたいです。

・他の人とは違うことをやるって、とてもカッコいいことだと思いました。今は両親もいるし、衣食住に困らないから、あまり物事を本気で考えづらいです。しかし、**両親に学校に通わせてもらっているんだな**と思いました。**理解していると思っているけれど、理解できていなかったと反省しました。**

6 須田先生

■ 講義の内容

豊富な写真をもとに水族館学芸員・展示飼育スタッフの仕事内容ばかりではなく、自己の軌跡をたどりながら、なぜ水族館の飼育員になりたかったか、そのためにどんな大学へ進学し、どんな学問を学んだかなど、**生徒の進路に役立つ情報**も教えてもらえました。また、水族館の持つ意義や役割についても教えていただき、ただ楽しい娯楽だけではないことが理解できました。



■ 生徒の感想

- ・生き物の変わった姿や、生態に興味を持ちました。カラフルな魚や変わった生き物が世界中には、たくさんいるんだと不思議に思いました。**やりたいことをひたすら目指すことは大切だと思いました。僕もやりたいことをやれるように、頑張りたいと思いました。**シャチなど、とても可愛かったです。
- ・川や海の魚に興味を持ってました。知らないきれいな魚や意外な習性など、面白いと感じました。好きかも！に気が付いたらチャンス。覚えておきます。**早くから自分の興味あるものを見つけて、その目標に向かって一途に努力していくことが大切だと感じました。**大事にしていることを話してもらいましたが、僕らにも大切なことだったので、心に留めて置きたいです。

7 松居先生

「何のために働くのか」「幸せとは何か」という質問から始まり、**専門性だけでなく生き方も含めて非常に内容の濃い講義**をしていただきました。

途中には、忘却曲線も利用されて**勉強のコツもしっかりと伝授していただき**、進路講演会としても十分なお話でした。生徒も内容に惹きつけられて熱心に聞く姿勢がとても心地よく感じました。我々教員も「何のために働くのか」をしっかりと考えていかなければなりませんね。



講義後も生徒の質問に答える松居先生

■ 生徒の感想

- ・今まで「幸せ」とは何かなんて、考えたことがなかったけれど、今回、話を聞いてみて、「ああそうだな」と納得できることがたくさんありました。やはり、人との関わりが多い地域医療の医師の話だなあと感じました。最後に観た動画で、**日頃母親に感謝することはないので、感謝したいなあと思いました。**
- ・働くとはということは何なのかということも、教えていただきました。幸せとは、人と交わること、親切心、ここにいることで、それは働くということと同じなんだと思いました。医者として患者さんを治療し、とても温かい気持ちになったという言葉が、とても印象的でした。**自分が思う幸せを満たすために、仕事を決めて、それをずっとやりきりたいと思うようになりました。**とても分かりやすいプレゼンで、とても良かったです。

8 松田先生

■ 講義の内容

はじめに、医学部看護学科で学習する内容の説明がありました。加えて、岐阜大学での4年間のカリキュラムについてのお話がありました。看護の現場で実際に使用されているAEDと、訓練用のAEDを持ってきていただき、生徒は実際に触って重さや感触を確かめていました。先生が看護師としてやりがいを感じた話など、貴重な体験談を話していただき、生徒たちは熱心に聞いていました。



■ 生徒の感想

- ・優しい口調で、とても聞きやすいお話でした。大学に入ってからのお話をたくさん聞けたので、良かったです。いいところだけでなく、**息抜きせず勉強しなければならないといった注意点もよく分かりました。**
- ・体験学習はやったことがありましたが、心構えというか、看護の在り方、考え方を学ぶことができました。**医療に携わる人としての意見は、興味深いものがありました。**根拠目標の設定などは、ためになりました。

9 岸先生

■ 講義の内容

関高生だった時は、1年生では部活動、2年生では病気を患いなかなか勉強できず、成績も落ちるところまで落ちてしまったが、3年生から気合を入れ勉強に励み大学進学を果たした。本気でやれば何とかなるということ、大学4年生の時の就職活動中に世の中のことを学んだなどのエピソードやNPO 法人花時計は福祉のことに取り組んでいる。NPO 法人は社会が必要としている事業で利益を追求しないで取り組む団体で、職員は普通の会社と同じように給料を受け取り、社会が必要とするやりがいのある仕事と夢を追いかけているという話で、生徒は引き込まれるように聞いていた。



■ 生徒の感想

- ・NPOはボランティアではなく、ちゃんとした仕事になるということが分かりました。「敬意は、口だけではなく、姿で表わさなければならない」という言葉が印象に残りました。**夢を叶えるために、勉強を頑張ろうと思いました。**
- ・夢を持ってあきらめずにやれば、成功することもあるということがよく分かりました。高校時代の話が面白かったです。NPOは利益をもらっていると初めて知りました。**こういった団体があるおかげで、私たちの社会が成り立っていることがよく分かりました。**

先輩方の後輩への思いを感じる講演でした。その思いが通じたのでしょう。生徒たちの心に響く大変良い「先輩を囲む会」となりました。どの先輩方も、快く講演を引打受けていただき、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。これからも、関高校をよろしく願っています。